

各位

ENEOS株式会社

ENEOS北京と特来电北京による中国での EV充電ステーション、マイクログリッド等の共同事業に向けた合弁協業契約を締結

ENEOS株式会社（以下「ENEOS」）100%出資会社の引能仕（北京）企業管理有限公司（以下「ENEOS北京」）は、特来电新能源股份有限公司（以下「特来电」）100%出資会社の特来电（北京）新能源科技有限公司（以下「特来电北京」）と、5月29日に、ENEOS本社（日本東京都千代田区）にて合弁協業契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本協業では、EVが急速に普及する中国市場において、EV充電コア技術を利活用することで充電ネットワークを共同で建設・拡大し、地域の特性や利用者のニーズに合わせたサービス展開を通じて、両社の協力事業の発展を図ります。

今後両社は、新たなエネルギー事業の発展にあわせ、2024年7月予定の合弁会社設立し、中国の北京市でEV充電ステーション、マイクログリッド等の共同事業の実現を目指します。



左から、ENEOS 取締役 副社長執行役員

ENEOS 東アジア総代表

特来电新能源股份有限公司

特来电新能源股份有限公司

椎名 秀樹

金子 貢

李 剑波

副總裁

總裁

郭 永光

＜合弁会社設立概要＞

会社名	(仮称) 引能仕特来電(北京)新能源有限公司
所在地	中国・北京市
設立年月	2024年7月頃予定
出資比率	ENEOS北京 50%、特来電北京 50%、
事業概要・事業構造	特来電のEV充電ネットワークを活用したEV充電ステーション事業
サービス開始時期	2024年度後半開始予定

【ENEOS】

日本国内の燃料油・潤滑油市場において半数以上のシェアを占めるENEOSは、グループの長期ビジョンにおいて、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向け挑戦することを掲げ、EVユーザーの充電ニーズに合わせた経路充電ネットワークの拡充を日本国内で図っております。

【特来電】

特来電は、中国大手電気設備企業であるTGOODグループ(300001、SZ)の過半数所有子会社であり、中国新インフラ業界のTOP100ユニコーン企業・2023年グローバル新エネルギー企業TOP500に選ばれました。2014年に設立された特来電は、電気自動車充電分野に先駆けて進出した世界の充電ネットワーク技術のパイオニアおよびリーディングカンパニーです。

以上